



九州工業大学情報工学部では、  
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として  
『サイエンス・カフェ』を開催しています。

## 第19回 サイエンス・カフェ @九工大情報工学部

●日時：2014年 **2月28日** (金)  
18:00~19:30

●場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス  
福利施設2階喫茶 飯塚市川津 680-4

●テーマ：『テレビの過去・現在・未来』

●ゲスト：くろさき まさゆき **黒崎 正行 氏**

( 情報工学研究院  
電子情報工学研究系 准教授 )

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、  
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要 (定員20名)

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509 (平日10:00~17:00)

メー ル：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

一般の方々が、科学者と、お茶やコーヒーを飲  
みながら、気軽に科学について語り合うことで、  
コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、  
その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、  
インド、オーストラリアなど世界各地に拡がり、  
日本では2004年に京都で始められたのが  
最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の  
方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を  
提供しながら、参加者みんなで考えることを  
とおして、科学への関心と理解を深めようと  
いうものです。科学を身近に楽しめるイベントと  
して注目されています。



### ゲスト紹介

くろさき まさゆき

**黒崎 正行 氏**

情報工学研究院

電子情報工学研究系 准教授

TV放送が開始されて60年がたちました。  
前回の東京オリンピックでは、茶の間を白黒  
TVからカラーTVへと変化させ、また、  
2003年からの地デジ化では、アナログ放送  
からデジタル放送に変化してきました。現  
在のTVは、画質が良くなってただけでな  
く、3D放送やネット放送など、時代とも  
に多様化してきています。また、今後も  
2014年から2020年の東京オリンピック  
にかけて4K放送、スーパーハイビジョン放  
送と今後も大きく変わっていく予定です。

これらの放送に使われている技術がどのよ  
うに変化してきたのかを説明します。